村山苑

FREE　ご自由にお持ちください。

はとほーむ　第60号

表　紙：「介護のおしごと」
見開き：「素顔」「新人職員紹介」
裏　面：「専門職コーナー ～機能訓練指導員～」

≪専門職コーナー≫

機能訓練指導員

川村さんのお仕事

できる限り自分で身の回りのことができるように
　支援していく役割を担う機能訓練指導員。
　　入居者一人ひとりの心身の状態に合わせて訓練を行っています。

施設の中では、主にマッサージやストレッチ、
下肢メインの筋力トレーニング、立ち上がり訓練や歩行訓練など、
入居者の方の生活の中でどのような訓練が必要なのか見極めて実施していきます。

「皆さんとても前向きに訓練に取り組んでくださいます」との事ですが、
楽しくお声がけしていくと、**「まだまだできるよ！！」**と気合いが入ってしまい、
止められなくなる方もいらっしゃるとの事…(^-^;　気持ちはわかりますが、ほどほどに…(笑)

実際に、想像以上に動けるようになっている入居者さんの姿を目の当たりにして、
驚く介護職員も多数との事。
「可能性を信じて、根気よく、一歩一歩続けること」が、秘訣だそうです。
継続は力なり…恐れ入ります…

自宅ではお子さんと遊んだり、将棋、読書、筋トレをして、楽しむようです。
川村先生、将棋の腕前はいかに！？

制約を余儀なくされてきた〝ふじみ町福祉施設連絡会〟の活動ですが、
２年間の沈黙を破り〝ふふふカレンダー臨時号〟の発行にこぎつけました。
各施設を巡るスタンプラリーも兼ねた内容です。気軽にお手にしてください。

《発行》　社会福祉法人　村山苑
特別養護老人ホーム　ハトホーム
発行責任者　兼市琢磨
《編集》　ハトホーム　広報委員会
〒189－0024　東村山市富士見町2丁目7番5号
TEL　042－393－7574
※写真・作品は、個人情報保護法に基づき、本人承諾のうえ掲載しています。
2022年5月末日　発行　　表紙：　コイに乗って ハトの運気も急上昇!?

お知らせコーナーも
ぜひご覧ください。

介護のおしごと

先日、実習生がハトホームで行った
〝介護過程の展開〟の発表会に参加しました。

〝くらし〟〝からだ〟〝こころ〟について
　細かく情報を整理して・分析・解釈・統合→　判断
　　導き出された生活課題に対する具体的な手段をまとめ
　　入居者の望む〝自分らしさ〟〝より良い生活〟を実現するプラン内容でした。

かつては介護者の〝その場の思い付き〟で提供されがちだった介護サービスですが、
現在は〝目的〟〝根拠〟をもって、**科学的に介護ケアを提供する**ノウハウを勉強しています。

すこし前までは
〝誰にでもできる〟と言われてきた介護のおしごと……。
社会福祉士及び介護福祉士法（1987年）が成立してはや35年。
今は**〝誰にでもできるわけではない〟**おしごとへと
変貌を遂げています。

介護過程は「そのケアが必要な理由」を客観的に示す役割を担います。

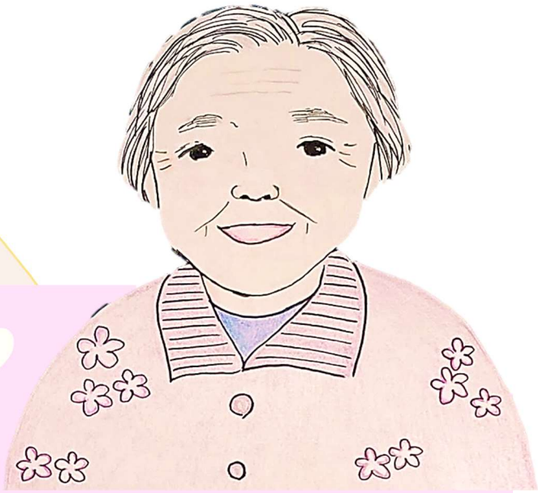
「入居者さんの素顔」

「あんた忙しそやな～」

気さくに声をかけてくださる喜代子さん。
バタバタ速足の私の
〝慌ただしい空気〟を丸～くしてくださいます。

いつも周りの状況を観察していて、気がつかない情報をいち早く知らせてくださいます。
神戸弁の混じった語り口に、入居者も私も助けてもらっています。

長生きもほどほどが良いな。寝込んでしまっては困る。お世話にならなあかんから……
頑張ってなるべく自分のことは自分でやろうと思う。
周りにやさしく自分に厳しい喜代子さん。見習わないとですね！



「おはよーさん」

清子さんの挨拶に、毎朝元気をもらっています。
ときおり関西弁の混じる清子さん。
〝せやで！関西出身やさかいね〟（笑）

父の仕事柄、関西各地を転々とした幼少期。
14 歳から７年間、奉公に出た苦労人。
人当たりも良く、おしぼりたたみも率先してお手伝いしてくださいます。

読書好きな清子さん。車椅子には必ず雑誌や新聞も乗っていますね。

新人職員紹介コーナー　大特集

【 ２階　介護職員　安川さん 】　〝唐揚げパワー〟

入職して一番びっくりしたのは、色んな意味で〝職員の皆さんのスピード〟が速い事です。
介護の仕事が未経験なこともあり、入職して２ヶ月が経ちますが、まだまだ力が足りないと実感しています。ですが、お仕事を通じて、入居者様から様々なお話が聞けるというところに、この仕事の魅力を感じます。亀の甲より年の功とでも言いましょうか…笑
まだまだ覚える事が山ほどあり、帰宅後にどっと疲れを感じる日もありますが、大好物の唐揚げを食べ、元気を出しています。

【 ２階　介護職員　石田さん 】　〝元気の源は「ありがとう」〟

高校の担任に進路相談をした時に興味を持ち、実際に昨年の夏頃よりボランティアとして少しずつ仕事の経験をさせていただき、職場の雰囲気や介護の現場の大変さも体験した上で、入居者さんのために働きたい、介護士になりたいと強く思いました。
入居者の方の「ありがとう」を聞くと、とても嬉しく、それを励みにして頑張っています。

まずは実務経験を積んで、介護福祉士の資格を取得し、２階の先輩のような介護士を目指します。今年の目標は頑張って働いて、貯金をし、マイカーを購入する事です。

連載　第７弾!!

【 ３階　介護職員　尾上さん 】　〝笑顔が大切〟

家の近くに介護施設があるのは知っていましたが、そこで働く知人からお話を聞いたのがきっかけで、介護の仕事に興味を持ち、そして、自分もその仕事を通じて社会貢献したいと考えるようになりました。学生生活と並行して、１年半非常勤職員として働き、この４月より職員として採用していただきました。
仕事をする上で、大切にしたいと思うのは、「入居者の皆さんの笑顔」です。そのためには、どんなに仕事が忙しくても、余裕を持って仕事をできるよう、スキル向上に努め、自分自身の笑顔も忘れない事だと思っています。

〈番外編〉
異動しました

【 ２階　介護職員　大澤さん 】　ほんちょうケアセンターへ

他施設の通所の経験を経て、村山苑に就職、ハトホームで約２年間働き、今回ほんちょうケアセンターに異動となりました。
働いて感じた事は、皆さんが気持ちよく挨拶をしてくれる職場だという事です。そんなハトホームで、入居者の皆様や職員の方と笑ってばかりいました。異動の話があった時は正直な所、驚きましたが、今は異動先のほんちょうケアセンターでも、この２年間の経験を活かし、新たな出会いに感謝しながら、たくさんの事を吸収してこようと思っています。